

令和8年度 東京都立墨東特別支援学校 経営計画

令和8年4月27日版 校長

I 目指す学校

将来のライフステージを見据えつつ、児童・生徒の障害特性や疾病等の実態に応じた日々の専門性のある授業実践と切れ目のない支援体制を構築することで、心豊かに自分らしく生きる力を培い、地域社会の自立した一員として社会参加し、共生社会を創出する障害者の代表となる児童・生徒の育成を目指す。

1 目指す学校像

「子供たちの夢や願いを実現させる学校」

2 教育目標

- やさしい心を育み、元気な体をつくる
- 意欲をもってすすんで学ぶ
- 自分で考え、責任をもって行動する
- みんな仲良く協力する

3 校訓

「好奇心・探究心・向学心」 ※個々の実態に即して「知ろう・深めよう・学ぼう」を併用する。

II 中期的目標と方策(令和8～10年度)

開校40周年となる令和9年度を中心とした令和8年度から令和10年度までの3年間を、蓄積してきた墨東の教育を継承しつつ新たな墨東スタイルを築く「墨東レガシー確立期」と捉え、中期目標及び方策を定める。

1 児童・生徒一人一人の可能性を広げる教育活動の充実

- ・児童・生徒の人権を尊重した教育及び「意思決定支援」を充実
- ・一人一人の実態や課題に対応した専門性のある指導の実施
- ・達成感や成功体験を味わうことができる「分かる」授業の実施
- ・次期学習指導要領に関する情報収集を含めた教育課程の評価・改善
- ・学校への帰属意識を高め自信を育てる一体感ある教育活動の展開

2 安全・安心な学校づくりの追求

- ・児童・生徒の健康と安全を最優先にした教育活動の展開
- ・学校事故や災害から児童・生徒を守る事故防止・危機管理体制整備と施設環境の整備

3 卒業までを見通した切れ目のない支援体制の構築

- ・小学部入学から高等部卒業までを見通した一貫性のあるキャリア教育
- ・個々の希望やニーズを踏まえた進路指導

4 地域・資源の効果的な活用「社会を学校に」

- ・校内外の人的・物的資源を活用した体験活動の機会の拡充
- ・デジタル機器や最新の支援機器等を活用した教育活動

5 働き方改革の推進による効率的な学校運営

- ・デジタルを活用した業務改善
- ・働きやすい執務環境の整備と協働して取り組む職場風土の醸成

6 次代を担う人材育成

- ・授業力向上に向けた校内研修システムの確立
- ・肢体不自由教育・病弱教育の専門性の維持と向上

7 理解充実・共生社会を創出する取組の推進「学校から社会へ」

- ・特別支援教育関連事業(都・区の施策協議及び推進事業、就学支援、副籍事業、学校間交流等)への参画
- ・共生社会実現に貢献するための情報発信等の組織化・計画化・教職員の発信力向上

Ⅲ 令和8年度の取組目標と方策(S…肢体不自由教育部門、B…病弱教育部門)

1 重点目標 ～学校魅力向上プロジェクトによる学校経営(別紙)～

(1) 児童・生徒一人一人の可能性を広げる学習機会の充実

- ・児童・生徒の人権を尊重した教育活動の実施(児童・生徒の尊厳を尊重するための指導・支援の導入、意思決定を支援するあらゆる指導・支援方法・支援技術の導入)
- ・「教職員行動指針」の策定と活用促進により児童・生徒にとって望ましい人的環境を整備
- ・外部講師・外部資源活用による体験型の学習活動実施(「社会を学校に」)
- ・スポーツ、芸術・文化に関する大会・コンクールへの参加、諸検定への挑戦、体験講座等の受講等
- ・デジタルの活用による他校児童・生徒との共同学習

(2) 根拠に基づく指導の充実

- ・授業者支援会議による授業力向上(一人年1回以上参画)
- ・一人1回授業公開の実施(「指導案」の作成・公開)
- ・都教育委員会の授業力向上に関する事業、他校公開授業等への参画(年次研修、教師道場、研究開発委員)
- ・外部専門員活用による専門性向上の継続

(3) 児童・生徒の健康と安全を最優先にした教育活動の展開

- ・児童・生徒の健康保持増進、医療的ケアの安全な実施、感染要望に万全を期し衛生環境を保持
- ・不審者侵入防止等、防犯体制・対策の整備
- ・負傷等の学校事故・重大なヒヤリハットをゼロ件に
- ・服務規律遵守に関する校内研修の定期的な実施(毎月)
- ・校内の死角をなくす環境整備、校内安全点検の実施
- ・様々な気候や気象条件、時間帯等に応じた災害対策の徹底

(4) デジタルを活用した教育活動の一層の推進

- ・GIGA端末、一人1台端末と支援機器等を組み合わせた効果的な授業実践(一人1回授業公開)
- ・生成AI等デジタル技術を活用した授業展開の工夫(児童・生徒の活用可能性拡大と教職員の活用力向上)
- ・都教育委員会と連携したデジタルを活用した制作・表現活動

(5) 働き方改革による効果的・効率的な学校運営

- ・業務分担の見直し・協働促進・校内意思決定手続きの簡略化等による業務の効率化促進
- ・全校定時退勤日、月ごとの残業時間の可視化等による個々の働き方の改善
- ・業務のDX ペーパーレス化、オンライン会議、アプリを活用した教材研究等デジタルによる業務改善
- ・学校 SNS を活用した保護者との連携推進
- ・教職員の学校経営参画促進

(6) 保護者・外部人材・関係機関連携と情報発信等による「共生社会」創出の取組推進(「学校から社会へ」)

- ・情報発信媒体に応じた、発信内容、発信時期の整理・見直しによる発信効果の向上
- ・教職員の情報発信・説明能力向上を継続的に推進する仕組みの構築
- ・見学・取材受け入れによる理解充実促進

2 取組目標【数値目標】学校評価アンケートの保護者回収率80%以上

(1) 学校への誇りや一体感創出と学習する場所としての雰囲気をも高める教育活動の展開

【数値目標】学校評価アンケートにおける肯定的評価:90%以上

- ・保護者と協働した年齢相応の対応や性自認への配慮徹底、「意思決定支援」を重視する指導・支援に転換

①呼称には「さん」をつけて呼ぶ ②TPO に応じて身だしなみを整える ③サニタリーグッズの取扱いや着替えの際に人目に触れないよう配慮する ④全ての教育活動において、活動内容・教材(イラスト、楽曲、キャラクター含)・言葉掛け・文章表現等について、年齢相応であるかを常に検証し見直す ⑤意思決定を支援するあらゆる指導・支援方法・支援技術の導入促進

- ・墨東アートギャラリー、校内掲示板、壁面等を利用した児童・生徒作品の効果的な掲示
- ・読書環境の整備、読書推進月間、「読書の木」、図書にちなんだ表現活動等の取組による読書活動の充実
- ・適切な指導計画に基づく特別活動・部活動の充実と陸上、ボッチャ、ハンドサッカー等の大会参加
- ・地域・関係団体等によるコンクール、コンテスト、作品展等への積極的な応募・参加
- ・児童・生徒の優れた成果や地道な努力を称える表彰・顕彰機会の拡充

(2) 実態や課題に基づく「分かる」授業の実践

【数値目標】(2)(3)共通 学校評価アンケートにおける肯定的評価:90%以上

教育課程全体に関する満足度に関する評価	80%以上
ICT・AAC・AT(アシスティブテクノロジー)活用に関する評価	85%以上
外部専門員活用に関する評価	90%以上
個別指導計画や日々の指導への満足度に関する評価	90%以上

・教育課程及び根拠に基づく実態把握により個別指導計画を作成し、個に応じた適切な指導及び学習評価を実施

・次期学習指導要領に関する情報収集と対応準備

・外部専門員と連携した「自立活動実態表」「指導プログラム」の作成・活用による自立活動の指導の充実【S】

・外部専門員の活用による集団・個別指導への指導力向上・授業改善

・ICT・支援技術積極導入による認知コミュニケーション学習充実及び意思決定・表出の指導と支援を推進

・社会のグローバル化を踏まえた外国語教育及び国際理解に関する教育の充実

(3) 教職員の指導力向上・専門性向上

・授業支援者会議システムの効果的運用

・都教育委員会の教育力向上に関する事業への参画(デジタル芸術、専門性向上研修)

・都の教員研究推進団体、肢体不自由教育研究団体、病弱教育研究団体による研究・研修・大会への参加

・外部専門員や外部講師活用による専門性向上の取組を計画実施、教職員間の学び合い 研修の実施

・指導の目的・意図の適切な設定力・説明発信力向上(「各種通信 Web 発信等」「授業参観ガイド」等)

(4) 国及び都の方針を踏まえた医療的ケアの安全な実施【S】

【数値目標】学校評価アンケートにおける肯定的評価:70%以上

・都教育委員会のガイドラインに基づく適切な実施

・個性の高い児童・生徒のケアに対する確実な対応と保護者への丁寧な説明

・医療的ケア児専用通学車両の安全な運行管理

(5) 児童・生徒の健康と安全を最優先にした教育環境整備・災害・防犯対策

【数値目標】学校評価アンケートにおける肯定的評価:80%以上

・いじめ・体罰防止、自殺防止教育推進委員会による状況把握と適切な指導・支援

・いじめ、自殺、不登校等の未然防止に向けた指導及び支援に関する研修

・個々の状況に応じた教育相談機能の充実及びスクールカウンセラーの効果的活用

【数値目標】学校評価アンケートにおける肯定的評価:85%以上

・保護者、学校三師、指導医、産婦人科医、医療機関等と連携した児童・生徒の健康の保持増進及び校内衛生環境維持

・健康保持、怪我防止等に係る事故未然防止策の徹底した履行、事故発生時の客観的分析と迅速な改善対応

【数値目標】学校評価アンケートにおける肯定的評価:85%以上

・様々な想定に基づく実効性のある避難訓練、総合防災訓練の計画実施

・月に1回の校内安全点検・安全指導の確実な実施

・老朽化施設の機能維持・教育環境整備(校内共用物品等の適切な管理と更新、迅速な補修・修繕)

・スクールバス、医療的ケア児専用通学車両の安全な運行に向けた施設環境整備

・不審者侵入防止等、施設等のルール見直しを含む防犯体制の再構築

(6) 児童・生徒の在籍病院・施設等と連携した指導の充実

【数値目標】関係医療機関・施設・在籍児童生徒及び保護者アンケート等による肯定的評価:80%以上

・国立がん研究センター中央病院、聖路加国際病院等との連携による病弱教育の充実【B】

・東部療育センターとの日々の連絡・情報共有による児童・生徒の可能性を広げる教育活動の実施

・入院・入所中の児童・生徒への切れ目のない指導と支援に向けた部門・教職員間の連携促進

(7) 本人・保護者の意向を尊重した就学相談及び入学・転学相談

【数値目標】当該児童・生徒保護者アンケート等による肯定的評価:80%以上

・学校生活、日常の指導の様子を把握できる学校公開の開催

・希望者の学校見学・学校体験の積極的受け入れ

・区教育委員会等と連携した保護者への情報提供

・適切な実態把握及び本人・保護者の意向を踏まえた丁寧な入学相談・転学相談

- ・就学前施設や前籍校との連携等による円滑な相談の実施
- (8) 高等部卒業後を見据えた小学部段階からの一貫性のあるキャリア教育の実施と進路指導
- 【数値目標】学校評価アンケートにおける肯定的評価:85%以上**
- ・キャリア教育計画、進路指導系統図の作成と共有化の促進(進路・キャリア通信の発行、個別指導計画等の諸計画との関連付)
 - ・学部間交流、上級学部体験等による進学意識の醸成
 - ・個々のニーズに沿った進路先見学、職場体験、実習
 - ・教職員・保護者への進路選択に必要な情報の計画的提供(各種通信、進路に関する学習会、見学会等)
 - ・キャリア教育の視点による卒業生支援、同窓会活動支援
- (9) 地域、保護者、外部人材、関連機関等と連携した「社会に開かれた学校」「共生社会」創出の取組推進
- 【数値目標】学校評価アンケートにおける肯定的評価:80%以上**
- ・学校間交流や副籍の機会を通じた地域の学校との連携促進
 - ・学校PTA及び広域PTAとの連携・協力による豊かな教育活動の推進
 - ・外部人材・関係機関を活用した指導充実と教育・専門性に関する最新情報の収集・発信(関係機関連携会議への参画等含む)
 - ・各種通信(学校だより(墨東の学び・墨東の橋)等)、X、学校ホームページ、本校見学・取材受入れ等による学校及び教育情報の積極的発信
 - ・情報発信・説明力向上を図るための持続継続可能なしくみの構築
- (10) 業務の効率化と学校運営への主体的参画
- 【数値目標】学校評価アンケートにおける肯定的評価:85%以上**
- ・職層に応じた学校運営への積極的参画・協働促進(主任教諭・主幹教諭ミッション一覧の活用)
 - ・校内人材の活用と協働を促進する学校運営・教育活動の活性化(「なんでも相談リスト」の活用)
 - ・主幹会を活用した課題の収集、対応策の検討・提案
 - ・各主任会等による諸活動の評価・反省と改善策提案
 - ・ペーパーレス会議、オンライン会議等のDX化の一層の促進
 - ・行政職の執務環境・業務改善の推進及び教育指導系の積極的支援と協働
 - ・全教職員を対象に学校経営への積極的な参画を促進(学校経営に反映させたい企画募集等)
 - ・教育課程精選、定例会議設定・校務運営方法の見直し推進により超過勤務縮減・余白の時間創出による指導と校務運営の質向上に着手
- (11) 開校40周年に向けた伝統の継承と魅力の創出
- 【数値目標】学校評価アンケートにおける肯定的評価:85%以上**
- ・40周年実行委員会を中心とした令和9年度に実施する40周年記念行事の企画運営
 - ・児童・生徒の主体的取組推進による学校アイデンティティの形成

(別紙)

墨東特別支援学校教職員行動指針

本校の教員、養護教諭、学校介護職員、学校看護師、企画室職員、栄養士等職員一同は、目指す学校の実現に向け「墨東スタッフ」として次のことを遵守して職務に当たります。

- 「人権の尊重」を大前提にした学校運営、教育活動を行います。
 - ◆同僚性を高めるための積極的行動と協働の推進
 - ◆体罰・性加害の根絶
 - ◆個人情報保護の徹底
 - ◆児童・生徒の人権に配慮した指導・言動
 - ◆モラルある教職員間の言動・コミュニケーション
 - ◆児童・生徒、保護者の願いや希望を十分に考慮した対応・支援

- 公務員としての責任を果たし、日頃から児童・生徒の模範となるよう行動します。
 - ◆場に応じた社会人としてふさわしい服装・身なり
 - ◆校内外における社会のルール・マナーの遵守
 - ◆謙虚に学び常に向上しようとする姿勢・態度
 - ◆児童・生徒、教育の充実に資する意見・提案の積極的発信
 - ◆組織として働く姿勢、情報共有、引継ぎの重視

(別紙)「学校魅力向上プロジェクト」

No.	プロジェクト	概要
1	「社会を学校に」プロジェクト	重点目標1「児童・生徒一人一人の可能性を広げる学習機会の充実」 ・外部資源を活用した体験型の学習活動、デジタルの活用による他校との共同学習(初年度)等
2	授業向上プロジェクト	重点目標2「根拠に基づく指導の充実」 ・一人1回授業公開等
3	健康・安全プロジェクト	重点目標3「児童・生徒の健康と安全を最優先にした教育活動の展開」 ・産婦人科医と連携した相談等、個々の児童・生徒の心身の発達状況に応じた指導(初年度)等
4	学校生活安心プロジェクト	重点目標4「安全・安心な学校生活に向けた指導体制の構築」 ・人権意識・服務規律向上等の研修、校内の死角をなくす取組、災害対策の徹底 ・事故未然防止実地訓練・事故発生時の迅速な原因究明と再発防止策構築・周知
5	デジタル活用促進プロジェクト	重点目標5「デジタルを活用した教育活動の一層の推進」 ・デジタルを活用した授業実践の研究(デジタルアート2年目、DXハイスクール3年目)等
6	働き方改革プロジェクト	重点目標6「働き方改革による効果的・効率的な学校運営」 ・業務分担の見直し・協働促進、会議等精選・効率化、DX推進により業務効率化を図り、生み出した余白の時間を学校の魅力化創出に活用 ・学校 SNS や ICT ネットワークを活用した情報共有促進と紙資料の削減
7	共生社会創出推進プロジェクト	重点目標7「地域、保護者、外部人材、関連機関連携と情報発信等による「共生社会」創出の取組推進」 ・情報発信媒体・対象等に応じた発信内容・量の整理・見直し ・実習・見学・取材等受入れによる理解充実の機会創出 ・学校間交流、副籍事業の課題の解決と充実・継続